

東邦大学医療センター佐倉病院小児科専攻研修プログラム

佐倉・選択専攻科目

皮膚科（1～6ヶ月）

1 目的と特徴G I O

皮疹の把握・記録、基本的な創傷処置・皮膚のケアは、すべての臨床科において必要な基本的診療技術のひとつである。すなわち、common disease としての皮膚疾患への対応が日常診療上しばしば求められ、外用薬などを適切に選択・使用できることが望ましい。選択研修においては、これらの基本的知識・技能を修得する。また、全身疾患の診断の窓口としての皮膚病変に関する知識・診療技術についても学習する。

2 プログラム管理運営体制

プログラム委員会は、皮膚科スタッフより構成され、随時、本研修プログラムに関連する事項、研修医評価などにつき協議する。

3 教育課程

3-1 研修期間と研修医配置予定

選択専攻での研修期間は1～6ヶ月である。

東邦大学医療センター佐倉病院皮膚科外来、病棟に配置される。

3-2 到達目標

3-2-1 行動目標SB0

- 1) 皮疹の把握・記録が適確にできる。
- 2) 基本的な創傷処置・皮膚のケアができる。
- 3) common disease としての皮膚疾患を理解し、対応できる。
- 4) 外用薬などを適切に選択・使用できる。
- 5) 全身疾患の診断の窓口としての皮膚病変を診断できる。

3-2-2 経験目標SBO+LS

3-2-2-A 経験すべき診察法・検査・手技

- 1) 皮膚疾患患者の病歴に正確な記載ができる。
- 2) 創傷処置・褥瘡処置・胼胝処置が適切に行える。
- 3) じんましん、乾皮症、帯状疱疹などへの処方ができ、適切なスキンケアを指導できる。
- 4) ステロイド外用薬の作用（ランク）・副作用につき理解する。
- 5) 内臓悪性腫瘍の皮膚表現、膠原病の早期病変としての皮膚変化、糖尿病足病変などに

つき知識を得る。

6) 皮膚科学検査法のうち、真菌鏡検、パンチ生検ができる。

3-2-2-B 経験すべき症状、病態、疾患

- 1) 接触皮膚炎
- 2) アトピー性皮膚炎
- 3) じんましん
- 4) 熱傷
- 5) 褥瘡
- 6) 蕁麻疹
- 7) 膠原病
- 8) 血管炎
- 9) 水疱症
- 10) 胼胝・鶏眼・膠原病
- 11) 乾癬
- 12) 皮膚腫瘍
- 13) 瘢痕・ケロイド
- 14) 虫による皮膚病
- 15) 皮膚細菌感染症
- 16) 白癬
- 17) 帯状疱疹
- 18) 糖尿病性足病変

3-2-3 評価基準

日常的な皮膚疾患の基本的な検査、診断と治療が行えるかどうか、指導医が評価表を使用して評価する。

3-3 勤務時間

研修期間中の勤務時間、休暇に関しては原則的には東邦大学医療センター佐倉病院の規定に従うが、カンファレンス、CPC、勉強会などは勤務時間外にも行われ、担当患者の状態によってはこの限りではない。また、休祭日の処置については、交替で任に当たる。

3-4 教育行事

1. 回診および症例検討会、CPC：月曜日午後
2. 各種学会集会への参加
日本皮膚科学会（総会および各支部総会）
日本皮膚科学会東京地方会：月例

3-5 指導体制

研修医の希望に沿って指導している。本プログラムの最終的な指導責任は、東邦大学医療センター佐倉病院皮膚科の指導責任者にある。外来診療においては、外来担当医の下で外来患者の診断と治療について基礎的な研修を行う。入院治療においては、入院担当の指導医の下に入院患者の受け持ち医として皮膚疾患の診断と治療に関して指導を受ける。さらに、回診、症例検討会、病理組織検討会などを通じて指導を受けることになる。

4 研修医個別評価

プログラム修了時に、基本的な皮膚疾患の診断のための知識が習得できたかどうか、指導医責任者が総合評価する。基本的皮膚科診療技術に関する学会・講演会への出席も評価の対象となる。